

東部日本語ボランティアネットワーク 第26回定例会議事録

2020年6月13日（土）14:00～15:30 リモート

【参加者】古橋（SIR）、鈴木（SIR・県日本語CD）、中村（熱海）、
虎谷（沼津・静東日本語CD）、杉本（富士宮・静東日本語CD）、影山（函南）
佐野、石井（のびっこ）、以上8名

1. 活動報告

古橋

- ・コロナの影響で、いろいろな事業がストップ、保留、規模縮小している
- ・地域日本語教育については、今年度動きがある

鈴木

- ・静岡県の地域日本語教育体制構築事業を担当している（5月から着任）
- ・今年度は、菊川市と磐田市でモデル事業を行う予定（体制構築事業は5年間）

中村

- ・日本語教室の運営は、昨年度から（市から）国際交流協会への委託事業となった
コロナの影響で4月5月は休講だったが、技能実習生のケアのためにスカイプの授業を開始
- ・「やさしい日本語」事業の予算で講座を年3～4回開催する計画をしたがコロナの影響で止まっている
オンライン講座の案も検討中

杉本

- ・富士宮の日本語教室はコロナの影響でしばらくお休み（9月に再開予定）
- ・学校支援も途中から中止になったが再開
- ・日本語指導コーディネーターの派遣要請は増えている
- ・県の研修は、8月まで中止影山
- ・コロナの影響で、函南のチャレンジ大学は中止、生涯学習は保留中
- ・函南町のメガソーラー問題に取り組むグループは、リモートで繋がっている
- ・富士宮の高校支援に応募したが、高校側が必要だったのは通訳の役割だったため採用されず残念
休校中にオンラインを使って日本語支援ができればと思った

佐野

- ・のびっこで活動していたが、入院で一時活動を休止。活動再開したところでコロナでストップになった
- ・今、のびっこクラブはリモートに移行していて、リモートに少しずつ慣れてきたところ
リモートは、中学生は部活があっても（時間を変えて）参加できるなどの利点もある
ピンチでも、そこにあるチャンスを見つけるような感じで捉えるといいかなと思っている

石井

- ・定時制に入った高校生から、教科書や郵送で届く学校からのお知らせが読めないとヘルプがあった
また、学校からのプリントは、できる子はさっさとやっちゃって暇になっていた（不規則な生活）
アモールと話し合いを重ねた結果、5月16日からリモート（zoom）に切り替えた。
- ・会員さんとのZOOMは、のびっこの定例総会を契機とした

リモートは時空を超える 移動の時間もお金も節約できるというメリットがあると思った。・東部の在住外国人がコロナの今、何に困っているのか聞いてみたい（アンケートを準備中）

東部ネットで情報共有する形で、個人的に繋がっている外国人に流していただけるとありがたい
虎谷

- ・沼津にほんご教室は、3月から休止で9月から再開予定 親子にほんごひろばは7月から再開
- ・スピコンはそろそろ広報ぬまづにも募集要項を掲載しなければならないが、未定
- ・親子にほんごひろばも第二波、第三波が来た時のために、リモート実施を検討する必要性あり
(PC やタブレットが無くてスマホでも参加できると、リモートのびっこを見ていて思った)
- ・学校が再開、休校中に日本語力の落ちてしまった子どももいるので、今後の対策を考える必要がある
- ・5月1日調べ…小中学校の外国人児童生徒増加。
- ・休校中の学校訪問では先生方とゆっくり話せてよかった。

〈欠席者の近況報告…司会者による事前資料の紹介〉

田中 (CIRCURO)

- ・清水町の教室は6月12日に再開

久木野 (LINK)

- ・日本語話そう会は、コロナの影響のため3月末で一旦休会 9月再開の予定
技能実習生の参加者が、この会で感染者や濃厚接触者になると、企業の死活問題になりかねない
- ・9月以降のバス旅行や体験会は、できるだけ実施する方向で準備している

山口 (大仁にほん語かいわ会)

- ・3月に伊豆日日新聞に記事が出た(新聞記事紹介) 大仁駅の駅前にあるまちすけでやっている
- ・実習機関が終わっても帰国できない実習生への支援や家賃補助申請など、個々に対応している

2. フリーディスカッション

(1) 熱海の「やさしい日本語」講座について

影山

熱海のやさしい日本語について、話を聞かせてもらいたい。やさしい日本語は、救急隊の隊員や観光業に就いている人など、地域活動の場で利用できる。

(2) 情報へのアクセスについて

古橋

地域日本語教室が中止のところが多いと、外国人がきちんと情報にアクセスできているのか？10万円の給付など相談したくてもできない外国人はたくさんいると思う。

実習生の場合は在留資格を延長する等、手立てがあっても管理団体がやらないとか、留学生の場合はバイトが減って生活費がないとか、切羽詰まっている人がいると思う。

佐野

今回の10万円は給付であって貸付ではないので、納税者としてもらうことはできる。外国人で自営業の方にとって持続化給付金の申請はより難しい。そういうことをきちんと知らせる仕組みは？国際交流協会でも流したりもするのか？

古橋

国や県の情報を、多言語で毎日のように流している。SNS を通しての相談件数は非常に多い。しかし、公のところからの情報で得るというよりも、口コミや SNS (母国語) で伝わっているのが多いと思う。日本へ来たばかりで孤立していて…となると情報を得るのが難しい。デマも拡散されるのが悩ましい。

(3) ZOOM について

石井

見学が(家から)簡単にできるのも ZOOM のいいところ。のびっこはまだ試行錯誤中だが、リモートのびっこを見学したい方は連絡してください。

中村

コロナの功名と言えるのか、以前から考えていた「オンライン導入」には良いタイミングだった。行政の委託事業のためネット環境についての制限が厳しく、「オンライン授業経験者」の講師にアドバイスをいただきながらスカイプ授業を進めている。オンライン授業は、講師と生徒がきちんと曜日・時間を守って開催しているかなどを管理する者が必要になる。他に著作権の問題など、講師のモラルが問題となる。そのあたりの工夫はどうしているか？

石井

著作権については、国の通知や県教委の方針も参考にした。のびっこクラブは無料で、塾とも違う。自分で紙に書いた解き方などを画面に写すのであれば、(本人の行為なので)著作権は大丈夫かと。それを写真にとって拡散するのは NG というルールを設けている。

影山

著作権フリーのオープンになっている教材を使ったらどうか？『エリンが挑戦』や『まるごと日本語』など、良い教材がたくさん出ている。

古橋

著作権について気になるなら出版社に直接問い合わせるといいと思う。ケースバイケースで違うから。

(4) しずおか日本語ネットワーク (JENIS) について

影山

西村さんたちと静岡日本語ネットワークを作り始めている。主な参加者は日本語学校さんだが、ぜひ地域の方にも入っていただきたい。多様性があつたほうがいいと思っている。

(5) その他

鈴木

オンライン支援の話が参考になった。どこに住んでいても、日本語を学びたい時に学び続けられるのがいい。地域の教室の特徴に合わせて、自分で選ぶこともできるかもしれない。大いなる可能性を感じる。

日本語教室の今の状況を教えてくださいという通知を出した。県の HP を更新したいので協力をお願いします。

(以上、敬称略)